

(様式2)

令和6年度神奈川県介護保険事業費補助金所要額調査

：機器は種別ごとにまとめる
：導入する事業所の名称も記入すること

市町村等ほかの補助金を併用する場合のみ入力する。

「A欄」と同じ数字にする。

補助事業者名 【様式1】の「法人(団体)名」と同じ名称

(単位：円)

補助事業名	区分	総事業費 A	寄付金その他の収入額 B	差引額 (A - B) C	対象経費の支出予定額 D	基準額 E	選定額 F	補助基本額 G	補助所要額 (上限500万円) H	既交付決定額 I	差引補助金所要額 (H - I) J
介護ロボット導入支援事業	移乗支援ロボット〇〇〇〇 1台(特別養護老人ホーム△△)	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,000,000	0	1,000,000
〃	移乗支援ロボット〇〇〇〇 1台(特別養護老人ホーム□□)	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	1,250,000	1,000,000	1,000,000	800,000	0	800,000
〃	見守りロボット〇〇〇〇〇〇 10台(特別養護老人ホーム△△)	4,000,000	0	4,000,000	4,000,000	3,750,000	3,750,000	3,750,000	3,000,000	0	3,000,000
〃	見守りロボット〇〇〇〇〇〇 20台(特別養護老人ホーム□□)	8,000,000	0	8,000,000	8,000,000	7,500,000	7,500,000	7,500,000	5,000,000	0	5,000,000
合計		15,000,000	0	15,000,000	15,000,000	13,750,000	13,500,000	13,500,000	9,800,000	0	9,800,000

(注) 1 F欄には、C欄とD欄とE欄を比較していずれか少ない方の額を記載すること。

2 G欄にはF欄の額を記載すること。

3 H欄にはG欄の額に補助率を乗じて得た額を記載すること。

4 G欄、H欄に千円未満の端数が生じた場合は切り捨てること。

H欄には、「G欄の額に補助率4/5を乗じて得た額」と「500万円」を比較していずれか少ない方の額を記載すること。

「I欄」：
「0」を入力する。

「見積書」に記載している中で補助対象となる費用(税別)を入れる。

・移乗支援ロボットの場合：1,250,000/1台
・入浴支援ロボットの場合：1,250,000/1台
・上記ロボット以外の場合：375,000/1台

それぞれ該当する数字を入れる。

・申請する事業所が複数ある場合は、導入希望の高い順番に上から記載してください。
(優先順位の高い事業所から交付決定します)
・1事業所あたりの交付額の上限は500万円です。

(様式2)

令和6年度神奈川県介護保険事業費補助金所要額調書

市町村等ほかの補助金を併用する場合のみ入力する。

「A欄」と同じ数字にする。

補助事業者名 【様式1】の「法人(団体)名」と同じ名称

(単位:円)

補助事業名	区分	総事業費 A	寄付金その他の収入額 B	差引額 (A-B) C	対象経費の支出予定額 D	基準額 E	選定額 F	補助基本額 G	補助所要額 H	既交付決定額 I	差引補助金所要額 (H-I) J
業務改善支援	・事業所A (サービス種別)	500,000	0	500,000	500,000	600,000	500,000	500,000	400,000	0	400,000
〃	・事業所B (サービス種別)	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	600,000	600,000	600,000	480,000	0	480,000
合計		1,500,000	0	1,500,000	1,500,000	1,200,000	1,100,000	1,100,000	880,000	0	880,000

(注) 1 F欄には、C欄とD欄とE欄を比較していずれか少ない方の額を記載すること。

2 G欄にはF欄の額を記載すること。

3 H欄にはG欄の額に補助率を乗じて得た額を記載すること。

4 G欄、H欄に千円未満の端数が生じた場合は切り捨てること。

「I欄」:
「0」を入力する。

「見積書」に記載している中で補助対象となる費用(税別)を入れる。

・申請する事業所が複数ある場合は、導入希望の高い順番に上から記載してください。
(優先順位の高い事業所から交付決定します)
・1事業所あたりの交付額の上限は48万円です。